



戸田 龍起

- 所属会派 新政会（代表）
- 昭和40年11月17日生。
- 神津小、北中、市伊丹高、日本大。
- 現在3期目。
- 都市企業常任委員会委員長、飛行場対策特別委員会委員
市立伊丹病院検討特別委員会委員、議会運営委員会委員



加藤 光博

- 所属会派 新政会
- 昭和30年6月9日生。
- 伊丹生まれ伊丹育ち、関西大。
- 現在4期目。
- 総務政策常任委員会委員、総合計画検討特別委員会委員



杉 一

- 所属会派 新政会 ■昭和55年4月18日生。
- 白ゆり幼、荻野小、花里小、松崎中、伊丹西高、神戸学院大、
尼崎信用金庫。 ■現在4期目。
- 文教福祉常任委員会委員、
総合計画検討特別委員会委員長
- メール： itami@sugi-hajime.net



ご案内

私たち 新政会に所属している 戸田龍起 加藤光博 杉一
へ市政の要望ご意見をお聞かせ下さい。

発行 伊丹市議会議員
戸田龍起 加藤光博 杉一
発行日 令和2年1月20日

お問い合わせ

TEL：072-783-1344（議会事務局） FAX：072-783-7751
E-mail：itami@sugi-hajime.net

伊丹市議会議員

戸田龍起・加藤光博・杉一／議会報告

【会派 新政会 所属】



市立伊丹病院

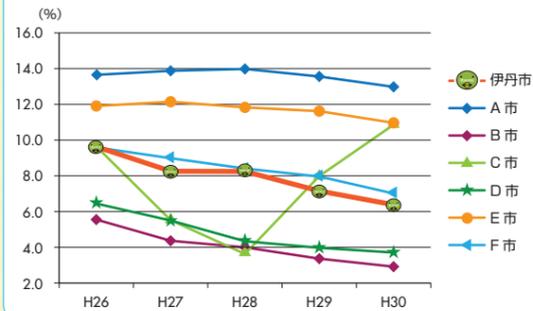
更なる高度医療提供のため新・市立伊丹病院設立に向けて

- 平成30年度決算（阪神7市との比較）
- 市立伊丹病院と近畿中央病院の統合
- 戸田龍起／9月議会会派代表質問
～国土強靱化地域計画策定・スポーツの振興～
- 加藤光博／9月議会個人質問
～子供の居場所づくりの重要性・今後の市政運営～
- 杉 一／9月議会個人質問・12月議会一般質問
～公共施設マネジメントの進捗・機能する総合計画～

平成30年度決算(阪神7市との比較)

借金の返済額は？

実質公債費比率の推移

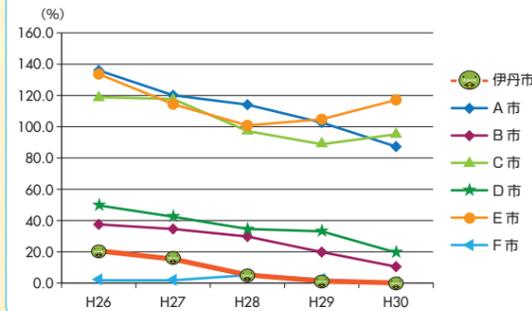


6.6%

実質公債費比率とは、年間収入に対し、借金の返済額を示すものです。借金の返済額が身の丈に合っているかを示す指標です。25%以上になると総務省の指導が入ります。伊丹市は**阪神各市の中でも良好**です。

将来の負担は？

将来負担比率の推移

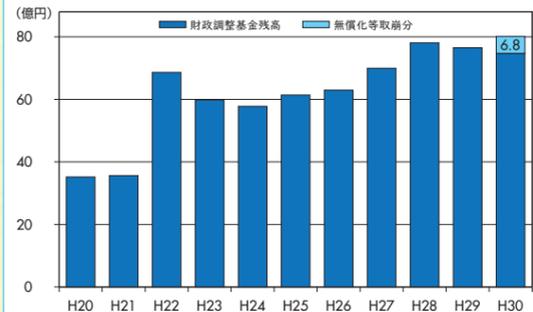


なし

今後返済が必要な借金等の総額が収入の何倍かを示すものです。家計に例えば、ローン残高に子どもへの仕送りなどの合計額が年収と比べてどのくらいかを示しています。伊丹市は**阪神各市の中でも良好**であり、かつ平成29年度決算より該当なしです。

貯金はどれくらいあるの？

財政調整基金残高等の推移

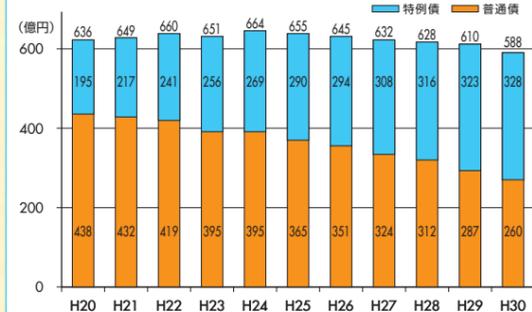


実質的な貯金残高 73億円

財政調整基金とは、不況や災害等により、予期せぬ収入減や支出増に備えて、財源に余裕があるときに積み立てておくための基金。無償化等取り崩し分とは、国に先駆けて実施した幼児教育段階的無償化などのため、一時的に取り崩した額。公立幼稚園等再編によって生じた財源で後年度に補填予定。**貯めるくらいなら市民サービスに回したらいいのではないの？**という市民の疑問もあろうかと思いますが、**いざという時のためにも一定量の額を貯めておくべきです。**

借金はどれくらいあるの？

市債残高の推移



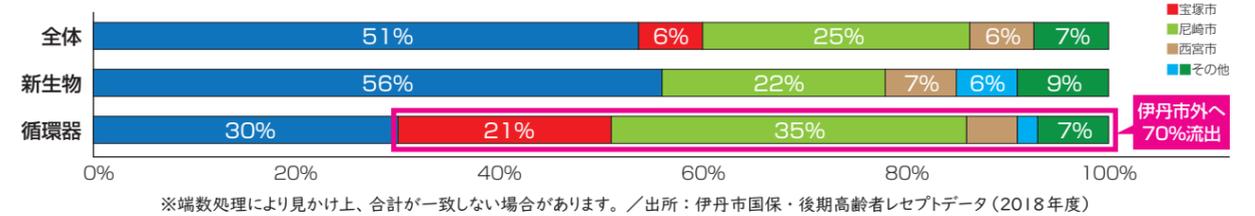
特別債を除く借金残高 約260億円

地方債とは、自治体が建設・土木など決められた範囲で、資金調達のために負担する債務。総額は約588億円あるものの、後年度に国が交付税として賄う特別債等を除くと約260億円である。なお、ニュースで**赤字国債**ということが報道されますが、自治体においては「赤字になったから借金します」ということはできません。前述の通り、**充てられる範囲が決まっています。**

市立伊丹病院と公立学校共済組合立近畿中央病院の統合

統合再編で期待できる効果

伊丹市民が入院している医療機関所在地の市町村割合 (ICD-10 大分類) (高度急性期)



競争することなく、市立伊丹病院と近畿中央病院が統合再編し、協力することで、医師の確保に務め、人員体制の強化を図り、持続的・安定的な地域医療体制を構築することが、効果的で実現可能な望ましい選択肢である。

これらの課題を解決し、以下の効果が期待できる。

- ①限られた医療資源を有効活用し、より高度な医療提供体制が構築され、市内で不足する診療機能が充実し、市民が住み慣れた地域で安心して診療を受けられる。
- ②医師・看護師等の医療従事者の集約による事業運営の効率化、診療機能の質の向上等により病床稼働率が上昇し、安定した運営が継続される。
- ③高度な医療機能を有することにより、やりがいと魅力のある医療機関となることで、医師や看護師等の医療従事者の安定確保に繋がる。
- ④人員体制の充実により、高齢化等による将来の医療需要の変化、医療技術の進歩、医師の働き方改革等の環境の変化に対し、柔軟に対応可能な診療体制が確立される。
- ⑤健診機能を有する施設を公立学校共済組合が設置することにより、市民に対する疾病予防や健康管理機能等が充実し、地域住民の健康増進が促進される。

新・市立伊丹病院について

病床規模は600床の高度急性期に対応できる病院へ

- がん、脳血管疾患、心血管疾患等の市外および圏域外への流出が多くみられる疾病に対応する診療機能の強化を図るとともに、2次・3次救急医療の提供を担う圏域内における基幹病院として必要とされる病床数を整備するため。**
- 専門的な治療とともに、適切な緩和ケアを総合的に提供できよう緩和ケア病床を整備する。**

救急医療の充実

現状、伊丹市外へ多く搬送されている救急患者を受け入れるために必要な整備をする。

立地場所と開院時期

現在の市立伊丹病院の敷地を活用。令和7年度中に開院、駐車場等含めて令和8年度中にグランドオープン。

選定の理由

- 大規模災害時における地理的優位性**
現市立伊丹病院の敷地は、浸水被害の想定区域外に位置している。また、直下には判明している活断層も存在していない。
- 市内全域からの受診アクセス**
国道171号と県道米谷昆陽尼崎線の交差点に立地し、自動車による交通の便に優れており、迅速な救急搬送の実現にも対応できる。
- 現行の診療機能を維持しながら建設が可能な面積**
周辺用地を活用することにより、現行の市立伊丹病院の診療機能を停止することなく、統合再編基幹病院の建設が可能となる敷地面積を確保できる。



国土強靱化地域計画策定

国土強靱化地域計画とは、どのような大規模自然災害等が起こっても機能不全に陥らず、いつまでも元気であり続ける強靱な地域づくりを平時から持続的に展開していくプランです。近年の多数の災害の教訓から市民生活や経済活動が機能不全に陥ることのない、致命的な被害を負わない強靱な地域を作り上げる取り組みがこれまで以上に重要と考え、またこの計画に基づき実施される取り組みに対して関係府省庁所管の交付金や補助金による支援も行われるとのことも活用していくべきとの考えから、計画策定についての伊

丹市の見解をお聞きました。伊丹市は、インフラ整備や公共施設などの一層の強靱化の推進、また、市民の身体、生命と財産への被害を最小限に抑えることを目指した新たな防災減災施策について検討が必要と考えており、国土強靱化地域計画を策定し、効果的に事業化を進める機会と捉え、兵

庫縣市町の中では、まだ神戸市と芦屋市のみとなっているが先進他都市の事例を踏まえながら研究、検討していくとのこと。今年、阪神淡路大震災から25年目となりますが、改めて防災・減災対策の重要性を認識し、この計画を推進して参ります。

伊丹市より先行して策定している兵庫県国土強靱化地域計画より

Table with 2 columns: 起きてはならない最悪の事態, 施策. Includes items like 多数の帰宅困難者への支援, 医療施設及び関係者の被災, etc.

スポーツの振興について

今年いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されることからスポーツに関心が高まる絶好の機会と捉え伊丹市のスポーツの振興について質問しました。伊丹市は、平成30年度から10年の期間でスポーツ推進計画を策定しており「する」「みる」「ささえる」「伊丹ならではの」スポーツといった4つの観点からそれぞれの施策を推進することで、すべての市民がアクティブライフを楽しむことができる環境を創ることとしています。

1. 「するスポーツ」では、市内の各種スポーツ教室の充実や積極的なPR、スポーツクラブ21への加入促進や、障害者スポーツの普及・啓発を進める。

2. 「みるスポーツ」では、住友電工陸上フェスタの開催をはじめとする、トップアスリートと市民との交流イベントの実施やオリンピックでのパブリックビューイング等の実施に向けた検討を進める。

3. 「ささえるスポーツ」では、部活動指導員や外部指導者の活用、指導者向けの各種研修の実施や参加促進、各種大会へのスポーツボランティアの活用、スポーツボランティアに関する情報提供等を図る。

4. 「伊丹ならではのスポーツ」では、ローラースケート場や相撲場の活用、「なぎなた」や「いたっボール」等伊丹独自のスポーツ資源の活用やPRの実施を進める。

とのことで、スポーツをまちづくりの重要な柱の一つと位置づけることにしています。スポーツは、体力の向上・ストレス発散・生活習慣病の予防など健康の保持増進に大きく貢献することとともに人間関係の希薄化などの問題を抱える地域社会の再生にも繋がり、また青少年の仲間や指導者との交流を通じてコミュニケーション能力を育成し、豊かな心と他人に対する思いやりの心を育むといった教育的観点からも大変意義があると考えます。今後、伊丹市のスポーツの振興には場所・時間の確保や施設の長寿命化などの整備が必要ですので重点的に取り組んで参ります。



子どもの居場所づくりの重要性について

★近年、ひとり親家庭や共働き家庭の増加により、夜遅くまで子どもだけで過ごす等の課題を抱える家庭が増えています。そのような子ども達に対して無料または定額で食事を提供する「こども食堂や学習支援、遊びの場を提供するプレイパーク」などの放課後等に子どもが安全で安心して過ごすことができる「子どもの居場所」が現在求められており、その具体的内容について質問。

質問事項

現状の取り組みはどのようなことか

答弁

こども食堂は4か所あり、それぞれ月1回開催。市民グループや自治

協議会、民生委員児童委員、そして企業や社協などが協力し、地域の方で運営している。市ではこどもの居場所を促進するため、学生ボランティアの登録をし、人材を派遣し学習の支援等行っている。平成30年度は延べ約1500人の子どもと、その保護者等の大人が延べ約300人利用し、地域交流の場にもなっている。

質問事項

事業の重要性に鑑み今後の充実策については

答弁

子どもが安心して過ごすことができる「居場所」があることは、子どもの心の負担を軽減し、地域の人たちとの交流を通して、困ったときに周囲にSOSを発信でき、子ども食堂が子どもの安全・安心を守る拠点になる。「居場所」とは安心していられる場所として、常に「ある」ことが大切だと考えている。引き続き子どもが安心して利用できる「こども食堂」を増やしていく。

【加藤の考え】子どもたちが健やかに成長することは、社会の強い思いであり社会総がかりで取り組むことが重要です。その充実に向けての取り組みを支援していきます。

伊丹市が抱える課題と今後における市政運営について

★本格的な人口減少社会へと突入し、住民が住むまちを「選ぶ」時代となり、本市では「安全・安心、人づくり」を市政の柱として施策に取り組み、住みやすいと思えるまちになりつつあります。しかし、今後もこうした行財政運営を維持できるかについては、予断を許さない状況と認識していることから質問。

質問事項

今後においてどのような行政課題が生じると認識しているのか

答弁

少子高齢化の進展により、生産年齢人口の減少のため市税収入の大幅に減少、2025年に団塊の世代が75歳以上となり社会保障費

の増加、公共施設の老朽化による維持・補修費の増加、大規模化している自然災害や南海トラフ地震等への対応、飛躍的進化するIoTやAI等の先端技術の活用など取り組まなければならない。

質問事項

今後の課題への対応は

答弁

様々な行政課題の解消に向け、今まさに令和3年度から8年間のまち

づくり指針となる第6次総合計画の策定作業に取り組んでいる。その中で、引き続き「安全・安心、人づくり」に注力し、限られた財源や人材を必要施策に集中させ、先端技術を活かし効果的・効率的な運営を行い、市民の参画・協働を推進し市民相互の支えあいによりすべての人が生きがいを持って暮らせるまちを目指す。

【加藤の考え】中長期的な課題認識としては、社会保障費関連経費の上昇や生産年齢人口の減少による市税への影響、公共施設の老朽化対策、自然災害等への対策などの課題を認識しています。したがって、限られた財源の中、効果的かつ効率的に施策展開を図り、「にぎわい・活力ある」持続可能なまちづくりが重要であると考えており、今後積極的に提案し、議論していきます。

杉 一 個人質問 令和元年第4回定例会<9月議会>



公共施設マネジメントの進捗

公共施設マネジメント基本条例

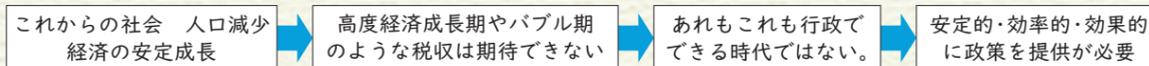
目標数値 令和12年度 53.0万㎡ 実際には 令和5年度(新市庁舎完成) 61.3万㎡+新病院5.6万㎡

【杉の考え】 市民の負担は平米数ではなく、金銭的に押し掛かってくる。伊丹市は、必要な施設である新市庁舎や新病院は国の有利な財源を活用して建設予定。一方で、再編できる施設は再編している。そこで、目指す目標として国の補助金や交付税算入、長寿命化によるライフサイクルコストの低減、これらを加味した、平米数ではなく**金銭的な見える化での目標値を検討すべきではないか。**

【市の考え】 考え方の基本は、トータルコストの縮減による持続可能な行財政運営と将来世代への負担軽減。その取り組み手段は、①市民が安全・安心に利用できるよう適切な維持管理を推進、②ライフサイクルコストを考慮した施設の長寿命化、③市民ニーズに柔軟に対応した「施設の機能移転・統合・複合化」を検討、④原則として新規整備は総量規制の範囲内で実施、⑤効率的な施設管理を推進するための施設マネジメントの一元化、⑥指定管理者やPFI等のPPP手法の活用、⑦市民参画による公共施設マネジメントの推進。**今後、目標設定の見直しが必要となることも想定されるが、取り組み方針の一貫性を失うことはあってはならないと考えている。必要に応じてさまざまに将来の市民負担を軽減させる手法を取り入れ、全体の最適化を図った施設マネジメントを推進していく。**

杉 一 一般質問 令和元年第5回定例会<12月議会>

機能する総合計画



的確な将来展望を見越した上での総合計画を策定し、それを核に市政経営を行うことで、効率的・効果的にできる

その手段としての杉の提案 財政計画や個別の政策を実行する計画を総合計画に組み入れる



【市の考え】 今までのように総合計画と分けて各政策の計画を作るが、今までの課題点も感じており、総合計画を基に連動するようにしていく。

令和2年2月2日/13:30~ 東りいたみホール5階会議室2 杉個人の議会報告会開催

市議会の Q & A

市議会での市の予算の審査について

1 予算の調製と提出

予算の調製及び提出は、地方公共団体の長に専属する権限であり、議会の側には認められていません。これは、長が一元的に処理することによって財政運営の統一を図り、責任の所在を明確にし、かつ、経理の適正を期するという趣旨によるものと解されています。そのため、地方公共団体の委員会（教育委員会や農業委員会など）及び委員にも、原則として予算の調製及び提出は認められていません。ただし、教育事務に関する予算の調製については、地方公共団体の長が教育委員会の意見を聴かなければならないとされています。また、地方公営企業法の適用を受ける地方公営企業の管理者には、予算の原案の作成権が認められていますが、予算の調製及び提出の権限を有するのは、あくまでも地方公共団体の長のみとなっています。

予算の調製とは・・・歳入についてあらゆる資料に基づいて正確にその財源をとらえ、かつ経済の状況を勘案して適正に収入を算定するとともに、義務的経費はもちろん、選択したその他の業務に関する経費を歳入とのバランスの上に計上することで、予算の編成までの一切の行為。

2 成立

議会において予算議決があったときは、議長は3日以内にこれを長に送付することとなります。長は、この送付を受けて、再議その他の措置を講ずる必要がないと認める場合には、直ちに、その要領を住民に公表し、会計管理者に成立の旨を通知します。

3 修正

予算案の修正については、予算提出権が長に専属していることから、議会がこれを増額修正する場合には、長の予算の提出権を侵すことができないという制限が課せられています。いかなる場合に、長の提出権を侵すことになるかは、増額修正しようとする内容、規模、当該予算全体との関連、当該地方公共団体の行財政運営における影響度等を総合的に勘案して、個々の具体的な事案に即して判断される必要があるとされています。

4 否決

議会は予算の議決権を有しているため、予算案を否決することが可能であると解されています。仮に、予算が否決された場合は、長による再議の規定の適用はないと解されています。ただし、法令により負担する経費や地方公共団体の義務に属する経費などを含む予算を議会が否決した場合には、長は、その案を再議に付さなければならないとされています。再議の結果、なお議会が予算案を否決した場合には、いわゆるこれらの義務的経費に関する部分については、長はその経費及びこれに伴う収入を予算に計上してその経費を支出することができるとされています。これを原案執行とも呼びます。

令和2年度予算の伊丹市議会での審査について ※いずれも10時開始

令和2年2月18日	市議会第1回定例会開会
令和2年2月25日	施政方針演説 令和2年度予算案の説明
令和2年3月3日	代表質問<午前10時より新公会>
令和2年3月4日	代表質問
令和2年3月5日~9日(土日除く)	個人質問
令和2年3月11日~16日(土日除く)	令和2年度予算案審査の予算委員会
令和2年3月24日	市議会第1回定例会閉会 予算の議決